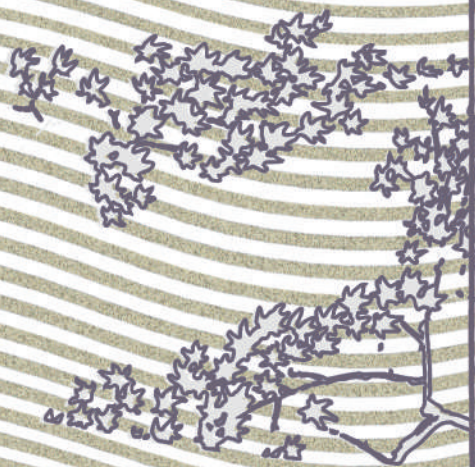


書香の森
企画展

記憶を刻むたばこパッケージ

— 金鷄と鳩がみつめた世界 —



2025 2025
9/5 12/26

北海道大学文学部1階エントランスホール
「書香の森」展示スペース

*一般の方は、平日午前9時～午後5時の時間帯にご来場ください

主催：北海道大学大学院文学研究院

監修：久井貴世〔博物館学研究室〕

企画：久井貴世〔博物館学研究室〕

張元昊〔博物館学研究室博士2年〕

樋口凜太郎〔博物館学研究室博士1年〕

池田圭吾〔博物館学研究室修士2年〕

上田輝〔博物館学研究室修士1年〕

畑山優香〔博物館学研究室修士1年〕

多加喜太輔〔博物館学研究室学部4年〕

協力：書香の森ワーキンググループ

〔浅沼敬子〔芸術学研究室〕、今村信隆〔芸術

学研究室〕、橋本雄一〔地域科学研究室〕、

久井貴世〔博物館学研究室〕、森岡和子〔研

究推進室〕〕

卓彦伶〔博物館学研究室〕

印刷デザイン：張元昊〔博物館学研究室博士2年〕

問い合わせ先：tobacco2025@let.hokudai.ac.jp



本チラシのデザインは、実在するたばこのパッケージをもとにイラスト化しました

150th
HOKKAIDO UNIVERSITY

各々の時代の象徴、世相を映す鏡

本展示では特にたばこのパッケージに着目し、戦争と、意匠として象徴的に描かれた動植物を主な視点として、たばこパッケージに刻まれた時代と社会と人々の記憶を振り返っていきます。本展示は文化史的な観点からたばこパッケージを捉えなおすことを目的とするものであり、たばこを吸う人も吸わない人も、好きな人も嫌いな人も、いつもとは違ったまなざしでたばこをみつめていただければ幸いです。

旭日旗 国旗 軍艦 鳳凰 龍 天狗 鶴 鷹 猛禽 鳩 鳶 鹿 馬 蝙蝠 亀 蝶 蜻蛉 タバコ 松 桜 菊 牡丹

01

日本のたばこ文化の黎明

江戸時代を通じて全国に広まった日本のたばこ文化は、幕末以降の外国製たばこの出会いをはじめとして、世界と関わりあいながら大きく変化していく。

02

たばこパッケージと意匠の変遷

たばこを包装するようになると、そこには産地や店名、次第に美しい意匠（デザイン）が描かれるようになる。意匠にも機能や意味が与えられ、多様なパッケージが生み出された。

03

たばこパッケージからみる戦争

たばこパッケージは時代や社会のさまざまな事象を反映し、戦争は特に濃厚な影を落とす。戦時下には国民意識の昂揚にも利用され、終戦後は平和や希望を表わす銘柄が登場した。

04

たばこパッケージにみる象徴としての動植物

時代や社会を映しだしてきたたばこパッケージには、その意匠にさまざまな動植物が描かれる。伝統的に日本で好まれた図柄のほか、軍国主義的な象徴性が強調された図柄もみられる。

05

たばこが刻んだ記憶と思い出

たばこは時代を通じてあらゆる場面に登場し、さまざまな作品や人々の記憶のなかで重要な役割を果たす。たばこパッケージは、たばこをめぐる記憶や思い出を刺激し呼び覚ますきっかけとなる。

【関連イベントのご案内】

企画代表者である文学研究院准教授の久井貴世が展示への想いや裏話を交えながら、文化史的な観点からたばこパッケージについて解説します。



<https://forms.gle/P1wba3yBCwWoLbu48>

イベントの参加申込は
ORC-IDやURLから



問い合わせ先
tobacco2025@lethokudai.ac.jp

主催…北海道大学大学院文学研究院
監修…久井貴世「博物館学研究室」
企画…書香の森展示
「記憶を刻むたばこパッケージ」
企画グループ

ギャラリートーク

日時

- ①10/23(木) 12:15～12:45
- ②11/17(月) 17:00～17:30
- ③12/6(土) 13:30～14:00

会場

文学部1階エントランス
「書香の森」展示コーナー

講演会

「たばこパッケージからみる戦争、
動植物の象徴性、そして記憶」

日時 11/9(日) 13:30～15:00

会場

北海道大学
オープンイノベーションハブ
エンレイソウ メインラウンジ

本展示では、たばこをめぐる皆さんの記憶や思い出を募集しています。展示を観て何か懐かしい記憶が蘇ったら、是非お帰りの前にエピソードをお書きください。